



# Little Diamonds

**47**  
No.  
2009年12月11日  
発行：浦和レッドダイヤモンドズ

## JUNIOR YOUTH

# 高円宮杯第21回全日本ユース(U-15)選手権 12/19から



高円宮杯関東予選Aブロック決勝 カドコダイの先制点に喜ぶレッズジュニアユースイレブン (11.15 / クマガヤSC戦)

高円宮杯第21回全日本ユース(U-15)選手権が12月19日(土)から始まる。

2年ぶりの出場となる浦和レッズジュニアユースは1次ラウンドでグループBに入り、ベガルタ仙台ジュニアユース、京都サンガF.C.U-15、アンフィニMAKI(北海道)と決勝トーナメント進出を争う。京都サンガF.C.ジュニアユースは、夏の日本クラブユース選手権準優勝の強豪。決勝ラウンドに進めるチームは各グループ1位のみという“狭き門”で、1次ラウンドからトーナメント戦さながらの厳しい戦いが待っている。

### サッカー人生の プラスになるような大会に

ジュニアユース監督  
名取 篤

関東予選では、夏の日本クラブユース選手権の関東予選で一度負けて9位決定戦に回った経験から、苦しい試合を勝ちきることを覚えたと思います。ツキもありますが、それも選手たちが呼び寄せているものですし、ふだんの練習に取り組む姿勢を見れば、全国に行くに値するチームです。苦しんで取った全国大会なので価値があると思います。高円宮杯はクラブユース選手権とは違った面白さがあります。

同じグループに夏のクラブユース選手権で準優勝した京都が入っているので、すごくやりがいがあります。どのチームも夏とは変わっているし、うちもいろんな予選を勝ち抜いてきて、経験を積んでレベルアップしていると思うので楽しみです。4チームのうち1チームしか勝ち上がれないので、一つでも落とすと難しくなります。初戦からトーナメントのつもりで戦いたいと思います。

レッズはこれまで宮城でやったことはなく、気候も寒いだろうし、そういう意味では、この大会自体を良い経験として自分たちのサッカー人生のプラスになるようにしてほしいと思います。



高円宮杯関東予選Aブロック決勝後半1分、カドコダイがこの日2ゴール目を決める (11.15 / クマガヤSC戦)

### 高円宮杯第21回全日本ユース(U-15)選手権 レッズ日程

12月19日(土) 1次R	13:20 / 宮城県サッカー場	vs ベガルタ仙台
20日(日) 1次R	13:20 / 宮城県サッカー場	vs 京都サンガF.C.
23日(水) 1次R	13:20 / 宮城県サッカー場	vs アンフィニMAKI
25日(金) 準々決勝	13:20 / 鶴見緑地球技場	
27日(日) 準決勝	13:20 / 西が丘サッカー場	
29日(火) 決勝	11:30 / 国立競技場	

## 関東予選、初戦は延長までもつれるも順調に3連勝

7月の日本クラブユース選手権関東予選では3回戦で敗れ、9位決定戦トーナメントを勝ち抜いて最後の切符を手に入れたレッズジュニアユース。高円宮杯の関東からの出場枠は5で、一度も負けが許されない予選だった。1回戦はジェフ市原・千葉U-15を相手に延長までもつれたが3-1で勝利。その後は、鹿島アントラーズノルテ、クマガヤSCを無失点で破り、順調に全国出場を決めた。

高円宮杯第21回全日本ユース(U-15)選手権関東予選 Aブロック1回戦	
2009.11.8(日) / 埼玉スタジアム第3グラウンド	
浦和レッズジュニアユース	3 前0 後1 VS 前0 後1 1 ジェフ市原・千葉 U-15
GK	吉野雅大
DF	新井純平 齋藤一穂 西澤秀平 水落 敬
MF	副島輔人 小峯洋介(立野峻平 / 9分) 繁田秀斗 細田真也(西袋裕太 / 9分)
FW	カドコダイ・アシカン 中村駿介(清川大輝 / 98分)
レッズ得点	中村(49分) 小峯2(81分、95分) *40分ハーフ・延長10分ハーフ

高円宮杯第21回全日本ユース(U-15)選手権関東予選 Aブロック2回戦	
2009.11.14(土) / 前橋市総合運動公園陸上競技場	
浦和レッズジュニアユース	2 前0 後2 VS 前0 後0 0 鹿島アントラーズ ノルテ
GK	吉野雅大
DF	新井純平 齋藤一穂 西澤秀平 水落 敬
MF	西袋裕太 繁田秀斗 金野偉太 佐藤大介(細田真也 / 71分)
FW	カドコダイ・アシカン 中村駿介
レッズ得点	繁田2(60分、68分)

高円宮杯第21回全日本ユース(U-15)選手権関東予選 Aブロック決勝	
2009.11.15(日) / 前橋市総合運動公園陸上競技場	
浦和レッズジュニアユース	2 前1 後1 VS 前0 後0 0 クマガヤSC
GK	吉野雅大
DF	新井純平 齋藤一穂 西澤秀平 水落 敬
MF	西袋裕太 繁田秀斗 金野偉太 佐藤大介
FW	カドコダイ・アシカン 中村駿介
レッズ得点	カドコダイ2(30分、41分)

# ユース世代の世界トップレベルを見聞 プロを目指す選手の自己管理とは

## FIFA U - 20 ワールドカップに参加して

～ 池田誠剛フィジカルコーチに聞く

浦和レッズアカデミーセンターの池田誠剛フィジカルコーチが、U - 20 韓国代表のフィジカルコーチとして、9月24日から10月16日まで行われた FIFA・U - 20 ワールドカップエジプト2009に参加した。韓国代表は、ドイツ、カメルーン、アメリカの3国とグループリーグを戦い、2位で決勝トーナメントに進出。さらにペルーも破ってベスト8入りした。世界の若い世代のトップレベルを見てきた池田コーチに、大会の中で感じたことを語ってもらった。



池田誠剛フィジカルコーチ(左)と堀孝史ユース監督

### 韓国からのオファーに驚き

U - 20 韓国代表に帯同した経緯は？

**池田** U - 20 韓国代表の監督が、Jリーグでもプレー経験のあるホン・ミョンボさんだったんですね。以前から知り合いだったんですが、彼から、いずれ自分が監督をするときには、ぜひ一緒にやってくれ、ということを言われていたんです。また、私がレッズに来る以前に釜山で臨時のフィジカルコーチをしていて、私のことを韓国の方々も評価をしてくださっていたようでした。それで、今回オファーをいただき、私自身はホン・ミョンボさんを本当に尊敬できる友人と思っていましたから、レッズにも申し出て、それで実現したという感じです。大会の5週間前からチームに合流して、準備を行い、大会にも帯同してきました。

世代別とは言え、韓国代表に日本人がコーチとして招かれることはすごいことなのでは？

**池田** 私もビックリしました。1クラブからなら十分あり得る話だとは思んですけど、ナショナルチームですし、韓国と日本は強いライバル関係がありますからね。今回の件で、日韓関係にも良い影響が出てくれれば良いなと感じています。

### ゴールへの意識シンプルに高い

今回のワールドカップを通じて若い世代の世界のトップレベルを見た感想は？

**池田** ゴールに対する意識がものすごく強か

ったと思います。それはサッカーの原点ですよ。相手よりもゴールを入れて、相手よりも失点を少なくする。それを当たり前のように表現していました。余計な手数をかけないでゴールを狙い、それができないときに初めてボールを動かして手数をかけていく。プライオリティーの第一は、1本のパスからシュートで得点できれば良いわけで、それは当たり前なことだけど新鮮でした。

また、韓国が準々決勝で敗れたガーナの2トップが強烈でした。その2人とトップ下の選手も含めた3人は本当にゴールのことしか考えていない。そのゴールへの意識が印象強かったです。もう一つは、やっぱり身体能力の高さ。彼らの持っている強さはナチュラルなもので、やはりそれに勝るものはないと感じました。自然についたものと、器具などを使って作ったものとは同じ力があつたとしてもやっぱり自然についた力の方が強いんです。

自然のものというのはどういうものでしょうか。

**池田** たとえば、私は以前、中村俊輔を指導していた経験があって親友があるんですが、彼に聞いたところ、海外でやっているピッチが緩いんですね。砂浜でサッカーをするのと固い土のグラウンドでプレーするのでは疲労度が違うように、芝生の下が緩いピッチだとやはり負荷がかかるんです。だから、試合をこなすごとにパワートレ

ニングをしているのと同じ効果があつてどんどん下半身が太くなっていくのがわかるんだそうです。その分、器具を使うような筋トレは必要ではなく、試合に出て、その疲労回復に努めれば良いと話していました。

ヨーロッパなどでは、そうした環境でナチュラルに鍛えられていくんですね。日本のピッチは固いですし、1試合をやってもなかなかパワーはつきません。だから、日本も世界

ということ考えたときに、環境を変えるか、トレーニング方法を変えていくか、そこは整理しなければならないと思います。

### 意識が高い韓国のユース選手

今大会を経験して、さまざまな選手たちを見た中で、今後、日本の育成年代の選手たちに必要なものは何だと思えますか。

**池田** やはり自己管理、セルフコントロールの重要性をあらためて感じました。すごく大ざっぱな言い方ですが、食べることも寝ることもそう。それらがトレーニング効果を高めるわけですからね。

育成年代には、個人がやらなければいけないトレーニングが、全体のトレーニングのほかにあります。それを自分たちの学校の、たとえば昼休みにやるとか、朝早く学校に行つて、授業前にやるとか、そういう努力を積み重ねて行かない限り、プロの世界に入っていくのは難しいと思います。

今回、韓国の選手たちを指導した中でもそれを強く感じました。

具体的に言うと？

**池田** たとえばキャプテンのク・ジャ Chol という選手がいたんですが、君はこういう部分が必要だから、こういうトレーニングをし



ユースの選手に専門的なフィジカルトレーニングを始動する池田コーチ

た方が良いよ、という、ちょっとやりすぎだぞ、というくらい徹底してやるんですよ。本当に意識が高い選手で、やっぱりこういう選手が上に行くんだな、ということを感じました。

また、彼らは食事の量が半端ではないんです。味噌汁と同じ感覚でチゲ(鍋)を食べる(笑)。だから、日本には食育というものが存在しますが、そういう言葉自体がありません。

食事を食べることが当たり前だし、その重要性に気づいて日々の生活に組み込まれているから、あらためてそういう言葉は必要ないんですね。それに寝ることの重要性も理解していました。頂点を極めたいという意識の高い選手たちの集まりでしたから夜遊びなどしないし、寝ることがどれだけトレーニング効果を高めるかも理解していました。

## 自分に必要なことの積み重ねを

日本の若い選手たちにもそうした意識の高さが必要だと？

**池田** そうですね。たとえば、レッズも含めJクラブのユースに所属している子たちは一般の高校の部活でやっている子たちよりも専門性がはっきりしてくるわけですね。プロを育成する組織に身を置くわけですから。ただ、一般の高校の場合、強豪校なら練習をやっているところは、朝練、昼練、夕方部の活と4時間、5時間はやっている。でも、たとえばレッズユースの選手たちは、集まれる時間が遅いから始まる時間も遅いし、長くは練習できないわけです。そうした中で、レベルアップをするためには、倍以上頭を使って、効率良いトレーニングをしなければいけないし、自分の時間をそこにあてなければいけません。それを、ゆっくり朝学校に来て、昼ご飯を食べて、一般の高校生のように普通に過ごしていたら、いくら良い素材、クオリティーの高い選手でも難しくなります。ジュニアユースなんかは帰宅義務があるから、一度帰宅してからの練習になるので、より遅い時間

から練習がスタートしますし、結局、練習の終わりが遅くなるということは、食べることで寝ることがおろそかになってしまったり、練習の量が少なくなってしまったりすることになります。それでは難しくなってしまう、ということなんです。

だから、本人たちも時間があるときの過ごし方から、練習後にはすぐに食事などをとれるように努力をしなければいけませんし、私たちを含めた関係者もそれを何より先に与えられるような環境を整えなければいけないと思います。



選手たちの様子をいつも見ている

今年ユースからは5人の選手がトップに上がりましたよね。やはりあの子たちは非常に意識が高い選手たちでした。たとえば、濱田水輝などは、こうしたトレーニングが必要だよ、と指導すると、それをコツコツと地道に続ける努力ができる選手でした。そうした積み重ねをしなければ上に上がってプレーすることはできないのです。

## アジアの強化はまずレッズから

今大会の経験を通じて、今後はレッズでどのように育成に携わっていきたいですか。

**池田** 私自身は、この経験を伝えたいと考えています。子どもたちにもそうですし、指導者にもそうです。個人的には、大きな目標としてアジアのレベルを上げることに貢献したいと考えているんです。それには、日本と韓国が切磋琢磨していくしかないと思うんですね。アジアを引っ張って行くのは両国だと思

うので。だから互いに強くなって、常にアジアの国がワールドカップや世界大会で、ベスト4に入って、ヨーロッパなどの強豪国と渡り合えるようにしたいなど。だからこそ、まずはレッズで、浦和を強くするというベースのところに貢献していきたいです。浦和で育った選手は、めっちゃくちゃ特長があって、トップに上がる選手がたくさん出て、代表にも浦和の選手がいる。そういうふうになるように力を尽くしていければと思っています。

そうやっていけば、本当に夢がありますね。

**池田** レッズは毎年のように良い選手がどんどんトップに上がっていくようなチームだと思うし、それがまたできるクラブだと思うんです。日本の中でも育成に理解があって、そこに特に力を入れてくれるクラブですから。だからこそ、そうしたことにまずは貢献できればと考えています。

## FIFA U-17 ワールドカップ出場

ユースDF 岡本拓也に聞く

10月にナイジェリアで開かれた、FIFA・U-17ワールドカップ2009に、浦和レッズユースのDF岡本拓也がU-17日本代表として出場した。大会は、1次ラウンドでブラジルに2-3、スイスに3-4、メキシコに0-2で敗れ、日本の決勝ラウンドの進出はならなかった。3試合にセンターバックまたは右サイドバックで先発フル出場した岡本に感想を聞いた。

初めて代表に選ばれたのは？

**岡本** 中3のときです。

今回の代表は10月初めに決定しましたが、そのときの感想は？

**岡本** 選んでもらってホッとしたというのが率直なところですね。

大会が近づいてきてどんな気持ちでしたか。

**岡本** 自分の力を試す良い機会だし、日本の力が世界の中でどれくらいやれるのかを試したいと思いました。去年のAFC U-16アジア選手権には年齢制限が何かで選ばれていませんでしたから。

8月にヨーロッパの強豪クラブのユースチームと試合をしました。

**岡本** あのところは、去年よりチームとしてまとまってきたし、本大会に向けてみんなの意識も高まってきたように思いました。

レッズではセンターバックか右サイドバック

ですが。

**岡本** ジュニアユースのときからほとんどセンターバックで、右サイドバックをやるようになったのは去年のユースの高円宮杯(10月)のころからです。代表ではずっとセンターバックで、サイドバックをやったのは今回の3試合目のメキシコ戦だけです。自分としてはどちらでもよいです。

今回、世界との差を感じたところは。

**岡本** ワンチャンスを一かモノにするかというところが違うと感じました。日本もチャンスは作っていたんですが。

自分個人としては。

**岡本** 得意でもある1対1の部分はやれたなと思いますが、空中戦とか高さの部分ではまだまだだと感じました。

日本が世界と戦って勝つには何が必要だと思いますか。



岡本拓也(ユース2年生)

**岡本** A代表でもやっているような、ボールも人もどんどん動いていくサッカーで、展開を速くしていかないといけないかな、と思います。

ナイジェリアの環境はどうでしたか。

**岡本** 宿舎はすごく良いホテルだったので問題なかったですが、スタジアムまで離れていてバスでゆっくり1時間かかるころでした。パトカーが先導に来て、びっくりしました。グラウンドは人工芝だったので、あまり違いは感じませんでした。気候は少しじめじめしていましたが、試合が夜だったので、それほど暑さはひどくありませんでした。

次の目標は何ですか。

**岡本** U-20ワールドカップのメンバーに入りたいですし、そのときはレッズでJリーガーとしてやっていきたいです。

# Jユースカップ予選リーグ突破ならず

浦和レッズユースは、Jユースサンスターニックカップ・第17回Jリーグユース選手権で決勝トーナメントに進めなかった。

10月17日(土)から戦ってきた予選リーグで、レッズユースは横浜FCユースと栃木SCユースには2勝ずつしたものの、横浜FMユースと川崎F・U-18から勝点を挙げられず、Dグループ3位となり勝ち上がれなかった。

すでに予選リーグ敗退が決まってから行われた11月22日(日)の最終戦では、横浜FMに先制されながら一時は逆転。さらに同点とされてから退場者を出したものの、後半早々に3-2と勝ち越すなど勝利への執念を見せた。その後追いつかれ、ロスタイムに決勝点を奪われて最終戦を飾れなかったが、選手たちにはサポーターから大きな拍手と横断幕による激励のメッセージが送られた。



今季最終戦に臨むレッズユースイレブン。後列左から畑本、広瀬、岡本、茸本、大里、中村、前列左から、矢島慎、矢島倫、磯部、岡田、池西(1122 / 横浜FMユース戦)

利根川良太(11.14 / 栃木SCユース戦)



石沢哲也(11.14 / 栃木SCユース戦)

Jユースカップ予選リーグ	
Dグループ第3戦	
11.1(日)11:00 / 埼玉スタジアム第2グラウンド	
浦和レッズユース	1 前1 後0 VS 前1 後1 川崎フロンターレ U-18
GK	小笠原正人
DF	西山航平 畑本時央 広瀬健太 大里康朗
MF	利根川良太(石沢哲也 / 66分) 岡田昌巳(池西希 / 66分) 矢島倫太郎
FW	矢島慎也(若井祥吾 / 82分) 磯部裕基(茸本啓太 / 31分) 高木 凜(鈴木大輝 / 67分)
レッズ得点	磯部(5分)

Jユースカップ予選リーグ	
Dグループ第4戦	
11.3(火)13:30 / 栃木県総合運動公園陸上競技場	
浦和レッズユース	6 前4 後2 VS 前3 後1 栃木SCユース
GK	小笠原正人
DF	西山航平 畑本時央 岡本拓也 広瀬健太
MF	池西 希(大里康朗 / 51分) 岡田昌巳 矢島慎也
FW	磯部裕基 茸本啓太 矢島倫太郎
レッズ得点	オウンゴール(5分)、 矢島慎3(14分、30分、44分)、 茸本(49分)、岡本(75分)

Jユースカップ予選リーグ	
Dグループ第5戦	
11.8(日)12:00 / しんよこフットボールパーク	
浦和レッズユース	2 前0 後2 VS 前0 後0 横浜FCユース
GK	中島聡志
DF	大里康朗 岡本拓也 畑本時央 西山航平
MF	広瀬健太 利根川良太(石沢哲也 / 89分) 矢島慎也(藤野友則 / 89分)
FW	磯部裕基(池西希 / 89分) 矢島倫太郎(高木凜 / 75分) 茸本啓太
レッズ得点	磯部(61分)、矢島倫(64分)

Jユースカップ予選リーグ	
Dグループ第6戦	
11.14(土)14:30 / レッズランド	
浦和レッズユース	3 前2 後1 VS 前0 後0 栃木SCユース
GK	中島聡志
DF	西山航平 大里康朗 岡本拓也 若井祥吾(今泉賢人 / 86分)
MF	広瀬健太(小峰海海 / 88分) 利根川良太(石沢哲也 / 76分) 岡田昌巳
FW	矢島倫太郎(磯部裕基 / 62分) 堀田 稜 茸本啓太(新井貴晴 / 72分)
レッズ得点	堀田(11分)、茸本(17分)、 磯部(82分)

Jユースカップ予選リーグ	
Dグループ第7戦	
11.15(日)12:00 / 川崎F 麻生グラウンド	
浦和レッズユース	0 前0 後0 VS 前1 後0 川崎フロンターレ U-18
GK	中島聡志
DF	若井祥吾 畑本時央 岡本拓也 大里康朗
MF	広瀬健太(石沢哲也 / 65分) 利根川良太(小笠原正人 / 35分) 岡田昌巳(矢島慎也 / 60分)
FW	矢島倫太郎(堀田稜 / 84分) 茸本啓太 磯部裕基

Jユースカップ予選リーグ	
Dグループ第8戦	
11.22(日)14:00 / 埼玉スタジアム第2グラウンド	
浦和レッズユース	3 前2 後1 VS 前2 後4 横浜F・マリノスユース
GK	中村 隼
DF	岡本拓也 畑本時央 広瀬健太 大里康朗
MF	池西 希(石沢哲也 / 77分) 岡田昌巳(森田健介 / 40分) 矢島慎也
FW	磯部裕基 茸本啓太(堀田稜 / 61分) 矢島倫太郎
レッズ得点	磯部(12分)、矢島倫(15分)、 矢島慎(47分)

## 最後の頑張る姿勢、続けられるように

ユース監督 堀 孝史

試合が進むにつれて成長を見せてくれた面がありましたが、本人たちのポテンシャルからするともっとやって欲しいですし、それはプレーだけではなく精神的な部分でも大人に近づいて欲しいです。目標を持ってやっているなら、まだ足りないのではないかと感じています。ただ、最後の試合に関しては、3年生もよく頑張ったと思うし、1、2年生も3年生が最後の試合だと理解して良いところを出せました。それを今後も続けていけるように僕らもアプローチをしていきたいと思えます。

サポーターのみなさんには、いつも応援に来ていただいて本当に感謝しています。結果として出せなかった部分がありますけど、見ていて選手たちがやろうとしていることとか、そういう意識が伝わるようなゲームができていれば良かったと思います。

### 予選リーグDグループ最終順位表

順位	チーム名	勝	引	負	得点	失点	得失差
1	横浜FM	19	6	1	26	10	+16
2	川崎F	16	5	1	27	13	+4
3	浦和	12	4	0	4	18	+2
4	横浜FC	7	2	1	5	12	-8
5	栃木	4	1	1	6	15	-14

\*上位2チームが決勝トーナメントへ

